

一般社団法人 日本集団精神療法学会 第40回学術大会のご案内

40th Annual Meeting of the Japanese Association for Group Psychotherapy

—第2報(訂正版) プログラム日程と参加登録のご案内—

『次世代と共有するグループの多様性』

大会長 太田 裕一(静岡大学)

事務局長 多喜田 恵子(岐阜保健大学)

<会期> 2023年3月18日(土)・19日(日)

<会場> ウィンクあいち(愛知県産業労働センター JR名古屋駅桜通口徒歩5分)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

Web : <https://www.winc-aichi.jp/>

ごあいさつ * * * * *

会員の皆さま

ご連絡が遅くなって大変ご心配をおかけして申し訳ありません。ようやくニュースレターの第2報をお届けすることができました。

演題登録を行っていただいた会員の皆さま、ありがとうございました。大会ワークショップに加えて、一般演題16題、自主ワークショップ18題が集まりました。第37回大会がCOVID-19感染拡大のため非参集、第38・39回大会がオンライン開催でしたので、国際基督教大学で行われた第36回大会以来、実に4年ぶり(ワールドカップなみ)の対面開催となります。特に自主ワークショップを申し込みいただいたのは、会員の皆さまの実際に対面してセッションを行いたいという熱い思いの現れかと思えます。

今回の大会テーマに「多様性」が含まれていることもあり、自主ワークショップの選定にあたっては、倫理的側面のみを考慮し、できるだけ多くの企画内容を取り入れるようにいたしました。

ワークショップ、一般演題、そしてその他のプログラムを盛り上げていくために、会員の皆さまにお願いがあります。グループを支えるものはマネジメントとコンテンツにあると思います。第40回大会には十分に誇れるコンテンツがあると思いますが、まだまだマネジメントが足りないように思います。ぜひこのニュースレターを印刷あるいは転送していただき、関連領域の非会員や大学院生にお勧めください。また、多くの会員の皆さまも参加登録をお願い致します。多様な参加者を包摂するプログラムは用意しております。

ぜひ名古屋でお会いいたしましょう。

大会長 太田裕一

* * * * *

参加登録について

大会の参加登録は、事前参加申し込み、一般申し込み（当日参加含む）、2日目のみの参加申し込みがあります。

ワークショップの参加を希望される方は、事前申し込み終了後にお申し込み下さい。

1. 学術大会参加費

事前参加登録	会 員	9,000 円	*事前申込期間 2022年12月23日（金）～2023年2月3日（金）
	非会員	10,000 円	
	学 生	3,000 円	
一般申し込み (当日参加含む)	会 員	10,000 円	
	非会員	11,000 円	
	学 生	4,000 円	
2日目のみ参加 (当日参加含む)	会 員	5,000 円	
	非会員	5,000 円	

2. 事前参加登録

日本集団療法学会のホームページのバナー(JAGP40と書かれたデザインのもの)からJAGP40公式ページに入ることができます。上部にあるメニュー「TOP」「演題登録」「参加登録」「ニュースレター(会員向け:プログラム)」「テーマソング」「よくある質問」から「参加登録」をクリックします。

このページをスクロールすると「事前参加登録はこちらから」というリンクがあるので、記載を読んだ上でこちらをクリックしてください。PCのほかに、スマートフォン、タブレットからもご利用いただけます。

1) 登録方法

募集要項をご確認いただき、「はじめてご利用される方」から「次へ」ボタンをクリックいただき、氏名や所属等の基本情報をご入力ください。ログインIDやログインパスワードは任意で設定いただけます。基本情報の登録後は、会員/非会員/学生の参加種別を選択いただき、確認画面で「申込み」ボタンをクリックしてください。そのまま「支払手続きへ」をクリックするとお支払い画面にお進みいただけます。

お支払手続きを後で行う場合は、「マイページへ」をクリックしてください。ただし、お支払手続きが完了しないと、参加登録も完了しません。

一度ログアウトしてからでも、次回以降はご自身で設定したログインIDとログインパスワードにて、マイページに簡単にログインできます。

2) 支払方法

クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMEX、Diners Club）、コンビニエンスストア、銀行振込をご利用いただけます。

3) お支払期限

お支払は、申込後7日以内にお済ませください。

4) 参加登録・抄録集販売の変更・取り消し・返金について

登録内容の変更については、申込受付期間内はマイページにて随時、変更・取消を行っていただくことが可能です。申込受付期間以降は、返金ができませんのでご了承ください。

5) 参加証と領収書の発行

参加証と領収書は、会場にて名札とともにお渡しします。

3. 体験グループI・II、大会および自主ワークショップの申し込み

事前参加登録終了後、Google Form (<https://forms.gle/ScKUWrUdpcgj3J249>) からお申し込みください。お申込みの際は、参加資格（会員、非会員）、定員などをご確認いただけますようお願い致します。

なお、定員になり次第、募集停止になりますので、ご了承ください。

4. 会場<ウインクあいち>について

1. 名古屋駅から会場<ウインクあいち>まで

1) JR・地下鉄・名鉄・近鉄名古屋駅より

- ・JR名古屋駅桜通口から：ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ・ユニモール地下街5番出口から：徒歩2分
- ・名駅地下街サンロードから：ミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由
徒歩8分

2) 名古屋地下街からのアクセス



名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由すると雨に濡れずにアクセスできます。

2. ウインクあいちの利用エリア

ウインクあいち 5階：小ホール（講演、講演後のワークショップ、シンポジウムなど）

10階：全フロアー（ワークショップ、一般演題発表）

11階：全フロアー（ワークショップ、一般演題発表）

全体プログラム

第1日目:3月18日(土) その1

9:10	受付							
10:00-11:00	開会挨拶・大会長講演 次世代と共有するグループの多様性 演者: 太田 裕一 司会: 田辺 等							
11:00-12:00	特別講演 「みんな」でまんがを作ることの意味 演者: 大塚 英志 司会: 太田 裕一							
12:10-13:10	日本集団精神療法学会 総会							
14:00-17:10	大会WS① 集団的創作とファシズム～戦時下の「協働」をめぐる ○大塚 英志 太田 裕一	基礎講座 相田 信男 ト部 裕介	大会WS② 私たちにとっての倫理とは何だろうか?～「倫理綱領」改訂に向けて 身近な倫理について対話を通して考える～ ○菊地 寿奈美 武井 麻子 白柿 綾 岡島 美朗 嶋田 博之 高橋 馨 袋岩 秀章	体験グループ I 権 成鉉 吉野 比呂子	大会WS③ 「災害とメンタルヘルスに関する相互支援グループ」相互支援委員会 ○橋本 明宏 安部 康代 高 富栄 長友 敦子 針生 江美 藤 信子 藤澤 美穂 山本 創	自主WS① 子ども・青年とのオンライン・グループなどの新たな試みについて考える ○渡部 京太 加本 有希 早川 洋 山口 剛史 中里 容子	一般演題1 治療グループの発展と技法 司会: 稲村 茂 ①様々な背景を抱えるうつ病患者の集団精神療法 ○重松 順子 古賀 禎也 大川 稚衣 堀川 公平 ②ゲーム・ネット依存症の集団精神療法 ○森 智秀 堀川 公平 坂口 信貴 古賀 禎也 ③治療構造の確認が心理教育プログラム実施にもたらす影響 ○泉屋 有理	一般演題2 病院・病棟 司会: 奥田 宏 ④病院を働きやすくするーその手入りを誰が引き受けるー ○白波瀬 丈一郎 ⑤グループ療法的内的対象の発達とそれを阻むもの(その2) ○浅田 護 ⑥メンバーの死や転院という喪失体験に直面したデイケア～組織全体の「喪失の第二波」とデイケアのコミュニティミーティング～ ○埜 雄士 浅田 護
17:30-18:15	CGS ミーティング							



第1日目:3月18日(土) その2

9:10	受付							
10:00- 11:00	開会挨拶・大会長講演 次世代と共有するグループの多様性 演者:太田 裕一 司会:田辺 等							
11:00- 12:00	特別講演 「みんな」でまんがを作ることの意味 演者:大塚 英志 司会:太田 裕一							
12:10- 13:10	日本集団精神療学会 総会							
14:00- 17:10	自主WS② ピアサポートグループに専門職はどうかかわるか ～ピアサポーターやピアスタッフが行うグループに参加する場合～ ○式守 晴子 関 百合	自主WS③ 「学校○グループ」 ～外側もしくはスケープゴートにされし人から見える世界～ ○梶本 浩史 大橋 良枝 加藤 隆弘 鎌田 明日香 菅 武史 野村 学 廣瀬 真理 松尾 真規子	自主WS④ ナラティブなグループアプローチを体験する(その12) ～グループ実践・経験をつなぎ合う/つむぎ合う;中堅と初心、相互がそれぞれに伝えたいグループでの「体験知」を語り合う～ ○田代 順 望月 洋介	自主WS⑤ 「日本学術会議会員任命拒否問題を集団精神療法家が考える」をドラマ化する ○前田 潤 荻本 快	自主WS⑥ サイコドラマ体験ワークショップ ～アクションを用いたグループのプロセスを体験する～ ○高橋 美紀 藤巻 加奈子	自主WS⑦ 症例検討会 実践編その2 ～実際に症例を提出してみよう～ ○柴田 応介	自主WS⑧ 組織開発という森を、集団精神療法で探検してみる ～組織コンサルタントと集団精神療法家との交流対談～ ○嶋田 博之 溝井 伸彰 北窓 康之 篠崎 絵里 山田 裕一	自主WS⑨ 外来集団精神療法の実際と意義 ～中高生のグループのロールプレイから～ ○二之宮 正人 高 富米 福澤 宏之 高山 真衣 東端 憲仁
17:30- 18:15	CGS ミーティング							

全体プログラム * * * * *

第2日目:3月19日(日) その1

9:10	受付						
9:30-12:30 一般演題 3,5 9:30-11:00 一般演題 4,6 11:10-12:10	大会WS④ 学校コミュニティにおける多様なグループアプローチ ○太田 裕一 梶本 浩史 鎌田 明日香 横山 孝行 山村 真	自主WS⑩ 芸術の知による研究《アート・ベイスト・リサーチ=ABR》とは何か? ～クリエイティブ・アーツセラピーのグループ体験から～ ○尾上 明代 神宮 京子 倉石 聡子 高田 由利子	体験グループII (新人コース) 藤 信子 菅 武史	大会WS⑤ 渉外委員会企画・集団精神療法はなぜ流行らないのか ～JACPの社会的価値を高めていくために～ ○高橋 馨 岩崎 壮登 大橋 良枝 岡崎 翼 片岡 圭美 桜庭 拓郎 嶋田 博之 月江ゆかり 林 公輔	事例検討 一般病院の門前診療所内精神科外来でのアルコールグループの取組みと病院への影響 ○水野 佑一 立川 真砂美 遠藤 嶺 石田 恵子 只隈 康弘 司会 式守 晴子 SV 稲村 茂	一般演題 3 児童・思春期① 司会:村上 健 ⑦児童思春期患者の増加と患者-スタッフミーティング ○山口 まどか 堀川 直希 堀川 奈津子 ⑧女子児童が行う遊びや表現活動を用いた治療グループの変遷～支え合いが出来るようになる過程について～ ○水間 菜未 菊池 清美 堀川 公平 ⑨小学低中学年を対象とした言語媒介グループ-子どもの発達段階を踏まえた実施の工夫 ○水間 公介 菊池 清美 堀川 公平	一般演題 5 支援者とグループ 司会:樋掛 忠彦 ⑫引き継いだひきこもりグループにおける初學者のグループ体験-主体性の獲得に着目して- ○堀江 和正 加藤 隆弘 ⑬社会的ひきこもりの地域支援に求められる支援者要因の探索的検討-居場所および家族会の支援者を対象としたインタビュー調査- ○久保 浩明 ⑭グループ的視点のない施設で職員チームを構築する試み ○篠崎 絵里
	一般演題 4 児童・思春期② 司会:黒江美穂子 ⑩pc ハワイの手法を使った学校における集団精神療法の実践～ピアグループスーパーヴィジョンを介した考察 ○久保 香織 池田 航 小川 香織 小黒 明日香 高橋 文絵 長友 敦子 藤澤 美穂 ⑪サバイバーキッズプログラム(心理教育)に参加した子どもの変化の検討 ○藤田 良江 森岡 由起子	一般演題 6 コミュニティミーティング 司会:安部 康代 ⑮精神科救急病棟で集団精神療法を実践する意義 ○小川 悠介 ⑯グループと主体性～精神科救急病棟でのコミュニティミーティングの体験から ○松井 朋美					
13:30-16:00	シンポジウム:次世代と共有するグループの多様性 司会:太田 裕一(静岡大学)、多喜田 恵子(岐阜保健大学) シンポジスト:田辺 等(旭山病院)、白柿 綾(聖カタリナ大学)、酒井 玲子(愛知医科大学病院)、片岡 彩(東京工業大学、大妻女子大学)						
16:00	閉会・次回大会長挨拶						



第2日目:3月19日(日) その2

9:10	受付							
9:30~12:30	自主WS⑪ こうえん ~出入り自由の体験グループ~ ○野中 稔 藤澤 希美 卜部 裕介	自主WS⑫ 小集団精神療法を基礎から学ぶ会~初期過程における現象とその取り扱いをめぐる~ ○塚瀬 将之 加本 有希 木村 能成 能 幸夫	自主WS⑬ つながることに特化した「話し方の決まり」のある言語グループ~リレーション・トークの手法を用いたグループを体験する~ ○藤巻 加奈子	自主WS⑭ いわゆる「Dr.Y問題」と呼ばれる出来事と「学会のトラウマ」をめぐる~PartV 22+5年目のワークスル~ ○菊地 寿奈美 浅田 護 岡崎 翼 吉野 比呂子	自主WS⑮ グループの心理力動とリーダーの介入根拠を理解する~“機能的サブグループ”を体験し、「今、ここで」の体験を探求することを通じて~ ○鴨澤 あかね 大島 寿美子 泉屋 有理	自主WS⑯ 看護管理者さん、お集まりください ~支援する人は支援される必要がある~ ○月江 ゆかり 大津 絵美子 白柿 綾	自主WS⑰ 日本の「グループ」を国際的視点で考える ○西村 馨 前田 潤 鈴木 純一 磯田 雄二郎 関 百合	自主WS⑱ 事例検討から学び、事例検討を活かす~続「グループはどのようなようにして集団精神療法的になるのか」~ ○宮城 崇史 片岡 圭美 加藤 祐介 田辺 等 相田 信男
	13:30-16:00	シンポジウム:次世代と共有するグループの多様性 司会:太田 裕一(静岡大学)、多喜田 恵子(岐阜保健大学) シンポジスト:田辺 等(旭山病院)、白柿 綾(聖カタリナ大学)、酒井 玲子(愛知医科大学病院)、片岡 彩(東京工業大学、大妻女子大学)						
16:00	閉会・次回大会長挨拶							

ワークショップ・プログラム * * * * *

第1日目:3月18日(土)

企画名	定員	参加資格	録音
大会企画ワークショップ			
① 集团的創作とファシズム～戦時下の「協働」をめぐって	なし	なし	有
② 私たちにとっての倫理とは何だろうか?～「倫理綱領」改訂に向けて 身近な倫理について対話を通して考える～	20名	なし	有
③「災害とメンタルヘルスに関する相互支援グループ」相互支援委員会	20名	なし	有
基礎講座			
基礎講座	なし	なし	有
体験グループ			
体験グループI	15名	会員	有
自主ワークショップ			
① 子ども・青年とのオンライン・グループなどの新たな試みについて考える	50名	なし	有
② ピアサポートグループに専門職はどうかかわるか ～ピアサポーターやピアスタッフが 行うグループに参加する場合～	25名	なし	有
③ 「学校〇グループ」～外側もしくはスケープゴートにされし人から見える世界～	50名	なし	有
④ ナラティブなグループアプローチを体験する(その12)～グループ実践・経験をつなぎ 合う/つむぎ合う;中堅と初心、相互がそれぞれに伝えたいグループでの「体験知」を語 り合う～	25名	なし	有
⑤ 「日本学術会議会員任命拒否問題を集団精神療法家が考える」をドラマ化する	なし	なし	有
⑥ サイコドラマ体験ワークショップ～アクションを用いたグループのプロセスを体験する～	25名	なし	有
⑦ 症例検討会 実践編その2～実際に症例を提出してみましょう～	50名	なし	有
⑧ 組織開発という森を、集団精神療法で探検してみる～組織コンサルタントと集団精神 療法家との交流対談～	25名	なし	有
⑨ 外来集団精神療法の実際と意義～中高生のグループのロールプレイから～	25名	なし	有

第2日目:3月19日(日)

企画名	定員	参加資格	録音
大会企画ワークショップ			
④ 学校コミュニティにおける多様なグループアプローチ	なし	なし	有
⑤ 渉外委員会企画・集団精神療法はなぜ流行らないのか～JAGP の社会的価値を高めようのために～	なし	なし	有
体験グループ			
体験グループII (新人コース)	15名	なし	有
事例検討			
一般病院の門前診療所内精神科外来でのアルコールグループの取組みと病院への影響	20名	会員	有
自主ワークショップ			
⑩ 芸術の知による研究《アーツ・ベイスト・リサーチ=ABR》とは何か? ～クリエイティブ・アーツセラピーのグループ体験から～	50名	なし	有
⑪ こうえん～出入り自由の体験グループ～	50名	なし	有
⑫ 小集団精神療法を基礎から学ぶ会～初期過程における現象とその取り扱いをめぐって～	25名	なし	有
⑬ つながることに特化した「話し方の決まり」のある言語グループ～リレーション・トークの手法を用いたグループを体験する～	25名	なし	有
⑭ いわゆる「Dr.Y 問題」と呼ばれる出来事と「学会のトラウマ」をめぐって ～Part V 22+5年目のワークスルー～	25名	会員	有
⑮ グループの心理力動とリーダーの介入根拠を理解する～“機能的サブグループ”を体験し、「今、ここで」の体験を探求することを通じて～	25名	なし	有
⑯ 看護管理者さん、お集まりください ～支援する人は支援される必要がある～	25名	なし	有
⑰ 日本の「グループ」を国際的視点で考える	50名	なし	有
⑱ 事例検討から学び、事例検討を活かす～続「グループはどのようにして集団精神療法的になるのか」～	25名	会員	有

一般演題 * * * * *

第1日目:3月18日(土)

一般演題 1【治療グループの発展と技法】 14:00~15:30		司会:稲村 茂(メンタルクリニック秋田駅前)
① 様々な背景を抱えるうつ病患者の集団精神療法	○重松 順子(のぞえ総合心療病院) 古賀 禎也(のぞえ総合心療病院) 大川 稚衣(のぞえ総合心療病院) 堀川 公平(のぞえ総合心療病院)	
② ゲーム・ネット依存症の集団精神療法	○森 智秀(のぞえ総合心療病院) 堀川 公平(のぞえ総合心療病院) 坂口 信貴(のぞえ総合心療病院) 古賀 禎也(のぞえ総合心療病院)	
③ 治療構造の確認が心理教育プログラム実施にもたらす影響	○泉屋 有理(相川記念病院)	
一般演題 2【病院・病棟】 15:40~17:10		司会:奥田 宏(ひろメンタルクリニック、金沢工業大学)
④ 病院を働きやすくするーその手入りを誰が引き受けるー	○白波瀬 丈一郎(東京都済生会中央病院)	
⑤ グループ療法的内的対象の発達とそれを阻むもの(その2)	○浅田 護(浅田心療クリニック)	
⑥ メンバーの死や転院という喪失体験に直面したデイケア ~組織全体の「喪失の第二波」とデイケアのコミュニティミーティング~	○埜 雄士(浅田心療クリニック) 浅田 護(浅田心療クリニック)	

第2日目:3月19日(日)

一般演題 3【児童・青年期①】 9:30~11:00		司会:村上 健(村上医院)
⑦ 児童思春期患者の増加と患者-スタッフミーティング	○山口まどか(のぞえの丘病院) 堀川直希(のぞえの丘病院) 堀川奈津子(のぞえの丘病院)	
⑧ 女子児童が行う遊びや表現活動を用いた治療グループの変遷~支え合いが出来るようになる過程について~	○水間 菜未(社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園) 菊池 清美(社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園) 堀川 公平(のぞえ総合心療病院)	
⑨ 小学低中学年を対象とした言語媒介グループー子どもの発達段階を踏まえた実施の工夫ー	○水間 公介(社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園) 菊池 清美(社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園) 堀川 公平(のぞえ総合心療病院)	
一般演題 4【児童・青年期②】 11:10~12:10		司会:黒江美穂子(群馬病院)
⑩ p4c ハワイの手法を使った学校における集団精神療法の実践~ピアグループスーパービジョンを介した考察	○久保 香織(宮城野心理臨床センター) 池田 航(坂総合クリニック) 小川 香織(岩手医科大学附属病院) 小黑 明日香(文京区子ども家庭支援センター) 高橋 文絵(世田谷区教育相談室) 長友 敦子(宮城県中央児童相談所) 藤澤 美穂(岩手医科大学教養教育センター)	

⑪ サバイバーキッズプログラム(心理教育)に参加した子どもの変化の検討	○藤田 良江 (聖学院大学大学院) 森岡 由起子 (聖学院大学大学院)
一般演題5【支援者とグループ】9:30~11:00	司会:樋掛 忠彦(つどいのクリニック柿田)
⑫ 引き継いだひきこもりグループにおける初学者のグループ体験~主体性の獲得に着目して~	○堀江 和正 (九州大学大学院) 加藤 隆弘 (九州大学大学院)
⑬ 社会的ひきこもりの地域支援に求められる支援者要因の探索的検討~居場所および家族会の支援者を対象としたインタビュー調査~	○久保 浩明 (宮崎大学医学部)
⑭ グループ的視点のない施設で職員チームを構築する試み	○篠崎 絵里 (社会福祉法人目黒区社会福祉事業団目黒区みどりハイム)
一般演題6【コミュニティミーティング】11:10~12:10	司会:安部 康代(安田病院)
⑮ 精神科救急病棟で集団精神療法を実践する意義	○小川 悠介(群馬病院)
⑯ グループと主体性~精神科救急病棟でのコミュニティ ミーティングの体験から	○松井 朋美(群馬病院)

その他

★プレコンgres

学会員を対象とした教育研修委員会主催のプレコンgresは、学術大会前日の2023年3月17日(金)に「ウインクあいち」で行います。詳細は教育研修委員会事務局からのご案内をお待ちください。

★CGS ミーティング:CGS ミーティングは、3月18日(土)17:30~18:15にウインクあいち5階小ホール2で行います。

★その他

・本学会は、日本精神神経学会精神科専門医資格認定更新・研修ポイント及び、臨床心理士資格認定更新ポイントの対象となっております。詳細につきましては、JAGP40 公式ページをご確認ください。

・大会参加にあたって手話通訳などの情報補償が必要な場合は、参加申込時にお知らせください。

今後の予定

事前参加受付締切:2023年2月3日(金)

抄録集の発送:2023年3月上旬の予定

*配達物は転送されませんので、住所変更のある方は学会事務局までお早めにご連絡ください。

プレングレスに関する問合せ	学会入会に関する問合せ
〒160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3階 株ヒューマン・リサーチ内 日本集団精神療法学会 教育研修委員会事務局 Tel: 03-3358-4001 / Fax: 03-3358-4002 e-mail: kkik@jagp1983.com	〒160-0011 東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3階 (株ヒューマン・リサーチ内 日本集団精神療法学会 事務局 Tel: 03-3358-4001 / Fax: 03-3358-4002 e-mail: jimukyoku@jagp1983.com
学会公式サイト: https://jagp1983.com/	

第40回学術大会に関する問合せ	
日本集団精神療法学会 第40回学術大会企画運営委員会	学会 facebook QRコード
e-mail: jagp40@jagp1983.com	
〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2丁目 92 岐阜保健大学 多喜田恵子研究室	
JAGP40 twitter: @jagp40nagoya	
JAGP40 公式ページ: https://jagp1983.com/?page_id=7317	
学会 Facebook(本大会では学会の Facebook で広報を行います)	
https://www.facebook.com/jagp1983	